

サヨナラ 長野五輪



信濃毎日新聞社
長野本社 〒380-8546
長野市南県町 657番地
電話(026)
受付236-3000編集236-3111
販売236-3310広告236-3333
松本本社 〒399-8711
松本市宮田 2番10号
電話(0263) 編集25-2151
販売... 広告... 事業25-2153
©信濃毎日新聞社1998年



各国の選手らが入場、別れを惜しんだ閉会式

閉会式 選手も観衆も輪になって

「さよなら、ナガノ」「ありがとう、ナガノ」。第十八回冬季五輪長野大会の閉会式は二十三日、長野市の南長野運動公園で行い、七十二の国・地域から二千三百人余が集い、十六日間にわたって繰り広げた祭典に幕を閉じた。

スタジアムは、世界中から集まった五万人の観衆であふれんばかり。各国の選手が笑顔で入場すると、夜空をつんざくような拍手が鳴り響いた。感動のドラマを与えてくれた選手たち。伊那谷の獅子舞をはじめ、信州の各地に伝わる素朴な祭りが、一人ひとりを笛や太鼓でねぎらった。五輪旗が次期開催都市のソルトレークシティに手渡され、同市のスタッフが次期大会をアピール。サマランチIOC会長の閉会宣言に続き、五輪旗が退場すると、十六日間赤々と燃え続けた聖火が火を落とした。

やがて、しんとした会場に、歌手の杏里が歌う「故郷(ふるさと)」の歌声。「夢は今もめぐりて、忘れがたき故郷」。長野市児童合唱団も歌に加わり、スタジアムを埋め尽くした観衆が、一斉に提灯をともし、クライマックスに。最後は、一転、軽快な「WAになっておどろろ」の歌と演奏。勝者も敗者も、女も男も、子どももお年寄りも、歌い、踊り、「ふるさと・ナガノ」で一つになった。

号外

長野五輪

第16日

NAGANO 1998

NTT
第18回オリンピック
冬季競技大会
オフィシャルスポンサー

世界から長野へ。長野から世界へ。

NTTはデジタルネットワークで長野オリンピックに参加します。
NTT is participating through our digital network.

白銀の世界を舞台に人間の限界に挑戦する熱い冬を、
1998年2月 NAGANO。
そこにあふれるのは言葉や文化の違いを越えた、喜びと喝采。
その熱い感動の輪は、世界へ、そしてあなたへ。
人から人へ、心から心へ。
HUMAN COMMUNICATION with NTT

www.ntt.co.jp/olympic/